

## 令和5年度主要事業の実施状況（健康増進分野）

## 1 減塩・ベジアッププロジェクト事業

生活習慣病（特に脳血管疾患と心疾患）のリスク因子を減らすため、山形が誇る豊かな“食”を楽しみながら健康長寿日本一を目指す「減塩・ベジアッププロジェクト」を展開し、健康的な食生活の普及・定着を促進する。



## (1) 減塩や野菜の摂取を呼びかけるキャンペーンの展開

## ① 減塩・ベジアップキャンペーン

- 毎月19日（減塩・野菜の日）を含む1週間をキャンペーン週間に設定し、「やまがた健康づくり応援企業」のうち、スーパーマーケット等と連携し展開。県作成ポスターの店内掲示、ベジチェック、野菜の重さ見本掲示、減塩・ベジアップレシピの配布、減塩商品コーナーの設置など。

| がん対策・健康長寿<br>日本一推進課  | 村山保健所   | 最上保健所  | 置賜保健所  | 庄内保健所  |
|--|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊学館、館内飲食店 (9/1～9/30)</li> <li>・イオン天童店 (9/23、24)</li> <li>・県庁ロビー展示 (10/2～10/17)</li> <li>・県庁ロビーモニター (9月、10月)</li> <li>・県庁食堂 (10/16～10/20)</li> <li>・やまがた食育県民大会 (11/25)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・たかき元町店 (7/19)</li> <li>・街なかやおや (7/19)</li> <li>・ヨークベニマル落合店 (8/30)</li> <li>・おーばん山辺店 (9/20)</li> <li>・保健所ロビー掲示 (9/1～9/30)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマザワ新庄店 (9/8～9/15)</li> <li>・最上広域交流センターゆめりあ (9/15～9/20)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン米沢店 (9/20)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン三川店 (10/14)</li> <li>・庄内総合支庁ロビー掲示・庁内放送 (9/4～9/8)</li> </ul> |

## ② やまがた健康づくり応援企業の募集、登録

- ・主体的に減塩・ベジアップキャンペーンを実施し、又は、県若しくは他の応援企業が実施するキャンペーンに協力する応援企業 令和5年度 17社登録(累計)

## ③ 米沢栄養大推奨商品の普及、促進

- ・応援企業が、米沢栄養大学の定めた基準を満たした商品を開発し、県がデザインした“米沢栄養大学推奨”シール貼付やポップ掲示して販売
- ・ベジアップ商品 登録数 6社60品
- ・減塩商品 登録数 3社 8品



## ④ 減塩・ベジアップメニューの販売・提供（県庁食堂・総合支庁食堂等）

- ・塩分を控え1日に必要な野菜の半分以上を摂取できる「ベジボックス」の販売
- ・減塩・野菜たっぷりアレンジ郷土料理の販売
- ・総合支庁食堂における適塩ランチ等の販売



## (2) 普及啓発等

- ① テレビ、新聞等の活用と企画展示、ホームページによる情報発信
  - ・遊学館企画展示と館内レストランでの連携メニューの提供（9月）
  - ・県庁食堂での連携メニューの提供(10月。山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、山形新聞で放映・掲載)
  - ・健康情報ステーションによるレシピ更新(年10回)
  - ・ホームページによる普及啓発と応援企業活動発信
  - ・応援企業と連携した発信(9月。山形放送、山形テレビで放映)
- ② 地域食育タスクフォース会議の開催
  - ・県全体で減塩や野菜摂取増に取り組むため、地域(子育て、教育、農林水産業、企業等)での食育活動の優良事例を共有し、横展開することを目的に各保健所で1回開催。

## (3) 教育局と連携した減塩・ベジアップ教育

- ① 学校給食における減塩・ベジアップを盛り込んだ減塩教育
- ② 米沢栄養大学デザイン監修「減塩リーフレット」を活用した食育の展開  
実施小学校等 35校(約 5,000 枚)
- ③ 適塩カレンダーの作成
  - ・学校における食育(子ども)を通じて、家庭(家族)の減塩・ベジアップを促進  
小学生向け、中学生向け 各 10,000 枚作成



## 2 ウォーキングプロジェクト事業

### (1) 目的

県民一人ひとりが「歩く習慣」を身につける契機とするため、「チャレンジ！プラス 1,000 歩」をキャッチフレーズに、昨年度ウォーキングプロジェクトを立ち上げた。

プロジェクト 2 年目となる令和 5 年度は、各市町村等のウォーキングイベントと連携した取組みを行うとともに、アプリを活用した Web 上でのウォーキング大会等を開催することで、県民の「歩く習慣」の定着を図る。

### (2) 内容

#### ① 「健康長寿日本一ウォーキングイベント」カレンダーの整備

開催期間：通年（令和 5 年 6 月～令和 6 年 3 月）

内 容：

- ・市町村等が主催するウォーキングイベントを「健康長寿日本一ウォーキングイベント」として登録し、カレンダー方式にまとめる。
- ・特設ホームページで一体的に周知し、ウォーキングの実践やスタンプラリーへの参加を呼びかける。

登録実績：60 イベント



#### ② ウォーキングチャレンジスタンプラリーの実施

開催期間：令和 5 年 6 月～11 月

内 容：

- ・①の「健康長寿日本一ウォーキングイベント」として登録された各地域のイベントを巡るスタンプラリーを開催
- ・子どもからシニア世代まで誰でも参加しやすいように、スタンプはデジタル式と台紙式の 2 種類を準備
- ・登録イベントからスタンプを 3 か所集めた方の中から抽選で 100 名にプレゼントを贈呈
- ・イベント主催者に対し、スタンプラリー登録に係るブース設置費用を助成（14 団体へ助成）

登録実績：42 イベント



#### ③ 健康長寿日本一ウォーキング Web 大会の実施

開催期間：令和 5 年 6 月～11 月

応募条件：月間 240,000 歩（1 日平均 8,000 歩）

内 容：

- ・既存のウォーキングアプリ（aruku&（あるくと））を活用し、Web 上でのウォーキング大会を開催
- ・応募条件を達成した方の中から毎月 10 名にプレゼントを贈呈
- ・最終月（11 月）には、6 月から 11 月までの総合順位等による特別賞として 30 名にプレゼントを贈呈

参加実績：延べ約 4,400 人



#### ④ 健康長寿日本一ウォーキング in 県総合運動公園の実施

開催日：令和5年9月10日（日）

会場：県総合運動公園（天童市）

募集人数：200名

参加者数：143名（事前申込者204名）

共催：公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会

- ・スポーツ推進委員等による「歩き方教室」を開催し、地域でウォーキングを推進する人材を育成
- ・県総合運動公園の自然を楽しみながら歩くウォーキング（3km）を実施



#### ⑤ 山形県働き盛り世代の健康UPサポート事業費補助金

働き盛り世代の歩く習慣の定着を図るため、企業が、従業員の健康の保持・増進のために行うウォーキングを促す取組みを支援する。

実施期間：令和5年5月～令和6年2月

対象事業：ウォーキング推進事業、健康管理機器等購入事業、健康づくり事業（歩き方教室開催等）

取組事例：ウォーキング月間の設定、激励品の贈呈、社員のウェアラブル端末購入費助成等

補助額等：上限10万円（補助率1/2）

補助実績：4件



### 3 やまがた健康フェアの開催

#### (1) 目的

県、市町村及び健康づくり関係機関が協働し、若者から働き盛り世代、高齢者まで県民一人ひとりの健康意識の向上や自発的な健康づくりを推進するイベントを実施

#### (2) 開催日等

○主催 やまがた健康フェア2023実行委員会

○日時 令和5年9月23日（土）10:00～16:00

24日（日）10:00～15:00

○場所 イオンモール天童

○来場者 約21,700名（前回：約14,000名）



#### (3) 主な内容

○1Fグリーンコートステージイベント

みんなで健康体操（山形済生病院）、糖尿病セミナー（山形県医師会）、他4件

○各ブース（イオンモール天童内各所）

「減塩・ベジアップキャンペーン」（健康長寿日本一PJ事業）、各出展団体による健康チェックコーナー（肌年齢測定、血管年齢測定、握力測定など）・「栄養バランス診断コーナー」（米沢栄養大学）、「お口の健康度チェック」（歯科口腔保健推進事業）など

○2Fホールイベント

やまがたピンクリボン運動（同実行委員会）、体組成測定（やまがた健康推進機構）

## 4 健康経営推進事業

### (1) 健康経営特別番組「いま注目！山形版健康経営」の制作、放送

#### ① 目的、概要

県内事業所における従業員の健康づくりを推進するために、県内の経営者や総務担当者を対象に、健康経営に係る政府の取組みや県内の最新事例などを紹介する。

#### ② 放送日時等

令和6年1月27日（土）16:00～16:55

県・山形放送主催（特別協賛：アクサ生命保険）

#### ③ 内容（取材先）

| 法人名                                   | 取材内容   |
|---------------------------------------|--|
| ①アサヒマーケティング（山形市）<br>（R5健康UPサポート補助金活用） | 1日1万歩を目指す「チャレンジ30」、「アサマー運動部」による健康リクリエーションの開催（月1回）            |
| ②太田建設（米沢市）                            | 健康診断維持者・改善者への表彰、社内ランチ風景 など                                   |
| ③丸の内運送（寒河江市）<br>（健康経営優良法人ブライト500）     | 「脳検診」「無呼吸症候群検査」の費用を全額会社が負担、健康宣言カードの導入                        |
| ④テイデイイー（酒田市）<br>（健康経営優良法人）            | 健康チェック（体温、血圧、朝食摂取等）<br>健康セミナーの開催（年4回）、ホッカイロ、ドリンクを会社で負担、毎朝の掃除 |

### (2) 健康経営コンソーシアムの開催

健康経営をめぐる国や県の動向等について理解を深めるほか、健康経営をより県内に浸透させていくため、コンソーシアムを通じ関係機関・団体の連携強化を図り、健康経営を通じた山形全体の活性化に繋がる取組みを探る。

開催日 令和5年11月22日（水）

場 所 山形放送

主 催 県・山形放送（特別協賛 アクサ生命保険）

出席者 東京大学古井祐司氏、県内各商工会議所、協会けんぽ、健康保険組合山形連合会

内 容 各団体が実施する施策について発表、意見交換を行った。

### (3) 山形県働き盛り世代の健康UPサポート事業【再掲】

働き盛り世代の歩く習慣の定着を図るため、企業が、従業員の健康の保持・増進のために行うウォーキングを促す取組みを支援

## 5 やまがた健康づくり大賞

### ① 目的

健康づくりに積極的に取り組み、他の模範となる企業及び団体等を顕彰することにより、その功績等を称えるとともに、その活動内容を広く紹介し、県民の健康づくりを推進する。

### ② 審査部門

「健康経営部門」「地域健康づくり部門」「減塩・ベジアップ推進部門」の3部門

### ③ 募集期間

令和5年8月1日～9月30日（応募数全9社・団体）

### ④ 選考結果

|              |                   |      |
|--------------|-------------------|------|
| 健康経営部門       | 株式会社丸の内運送         | 寒河江市 |
|              | 日本刃物株式会社          | 米沢市  |
| 地域健康づくり部門    | 山形市健康づくり運動普及推進協議会 | 山形市  |
| 減塩・ベジアップ推進部門 | 株式会社県庁食堂          | 山形市  |

## 6 やまがた健康マイレージ事業

### ① 目的

県民一人ひとりの自発的な健康づくりの実践を促すことにより、生活習慣の改善を図るため、楽しみながら、継続的に健康づくりに取り組める環境を整備する。

### ② 実施市町村数

31市町村

### ③ 協力店舗数

533店舗(令和6年1月現在)



## 7 受動喫煙防止対策

### (1) 目的

令和2年4月に施行された改正健康増進法（以下「改正法」）及び山形県受動喫煙防止条例（以下「条例」）に基づき、望まない受動喫煙の防止のための取組みを推進する。

### (2) 事業内容

#### ① 改正法及び条例の施行と受動喫煙による健康影響の周知

- ・ 県四師会（県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会・県看護協会）と共催で、新たに「イエローグリーンキャンペーンやまがた」を開催し、文翔館など県内16施設のライトアップを行った。  
（ライトアップ期間：5/31～6/6）



- ・ 県民に対して、広報媒体や各種イベント、職員出前講座等を活用した普及啓発活動を実施
- ・ 事業者に対して、リーフレット配布、巡回訪問、職員出前講座等を活用した普及啓発を実施

## ② 改正法及び条例の施行に対する対応

- ・義務違反に対する指導・助言、立入調査等を実施  
(R5年度:村山3件、最上1件)
- ・屋内禁煙とした飲食店等に禁煙標識を交付 (R5年度:69件、累計1,525件)
- ・喫煙可能室設置届出の受付 (R5年度末届出施設数の合計:1,163件)

## ③ 禁煙治療実施機関の情報提供を実施

「保険適用による禁煙治療実施医療機関」を県ホームページに掲載

# 8 糖尿病及び慢性腎臓病 (CKD) 重症化予防事業

---

## (1) 目的

糖尿病や慢性腎臓病の重症化による人工透析の導入は生活の質に大きな影響を及ぼすため、関係機関と連携し、重症化予防、人工透析への移行防止に取り組む。

## (2) 事業内容

### ① 医療機関と地域 (保険者) との連携体制構築事業

- ・「糖尿病カードシステム」活用に関する研修会の開催

(委託先:公益社団法人日本糖尿病協会)

日 時:令和5年10月12日(木)14:00~17:00

場 所:わくわく新庄(新庄市)集合開催

出席者:最上管内市町村及び医療機関担当者等 20名

内 容:講演及びグループワーク

### ② データ分析によるハイリスク者抽出及びハイリスクアプローチ事業

保険者(市町村)における効率的かつ効果的なハイリスクアプローチを支援するため、国民健康保険被保険者の特定健康診査データを基に、重症化リスクの高い者をリストアップして提供するとともに、データ活用に関する研修を行い、受診勧奨により適切な医療につなげる。(委託先:山形県国民健康保険団体連合会)

- ・市町村へのデータ等の提供

令和5年8月23日に、対象者リスト・主治医用連絡票・本人用お知らせ等提供

- ・糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防に係る研修会

日 時:令和5年8月29日(火)13:20~16:00 (Web開催)

参加者:市町村の保健事業関係者及び国民健康保険関係者等 74名

内 容:ア 山形県の取組

イ 重症化予防に関する個人リストの内容と活用方法

ウ 人工透析導入ハイリスク者リストの活用(川西町)

エ 人工透析導入ハイリスク者リストを活用した介入ポイント

### ③ 糖尿病等対策検討会の開催

日 時:令和6年2月28日(水)10:00~11:30 (Web開催)

内 容:(1)令和5年度糖尿病及び慢性腎臓病(CKD)重症化予防事業実施状況

ア 人工透析導入ハイリスクアプローチ事業

イ 最上地域における糖尿病カードシステムを使用した糖尿病重症化予防モデル事業

ウ 県プログラムに係る状況調査結果

エ 県プログラムにおける評価指標及び参考資料

(2) 各機関・団体における取組み状況

参集範囲：県糖尿病対策推進会議、県医師会、県薬剤師会、県看護協会、  
県栄養士会、県保険者協議会、各保健所 等

#### 【関連事業】

#### ④ データを活用した保健事業の推進

東京大学都道府県向けリーダーシップ・プログラムを活用した市町村の保健事業  
支援として、令和5年度は、第3期データヘルス計画策定支援を実施。

##### ア 第1回研修会（東大プログラム）

日 時：令和5年7月10日（月）13:30～14:30 （Web開催）

内 容：講演「第3期データヘルス計画の策定

－国民健康保険がデータヘルス計画で目指すこと－

##### イ 第1回保健事業従事者研修会（委託先：山形県国民健康保険団体連合会）

日 時：令和5年8月18日（金）10:00～11:50 （Web開催）

参加者：市町村・保健所担当者、保健事業支援・評価委員会委員等 104名

内 容：・説明「山形県のデータヘルス計画に係る支援について」

・説明「共通指標等に係るデータセットについて」

・講演「第3期データヘルス計画へのデータの活用事例」

##### ウ 第2回保健事業従事者研修会及び各保健所健康増進事業評価検討会

日 時：令和5年10月25日（水）13:30～15:10 （Web開催）

参加者：データヘルス計画策定に関する市町村職員等 90名

内 容：情報交換、情報共有、助言者からの助言

##### エ 第2回研修会

日 時：令和6年3月21日（木）10:00～12:30 （Web開催）予定

内 容：第3期データヘルス計画策定結果のフィードバック等

## 9 アレルギー疾患対策

---

### (1) アレルギー疾患医療連絡会議

本県におけるアレルギー疾患対策の現状及び課題について関係者間で情報を共有し、それぞれの視座から助言等を得て、県のアレルギー疾患医療対策関連事業の方向性を検討する。

令和5年度は、令和6年度連絡会開催に向け関係者と検討、調整を実施

### (2) アレルギー疾患医療に関する調査

本県におけるアレルギー疾患医療提供体制の現状を把握し、アレルギー疾患を有する患者やその家族に対する情報提供を行うために実施

①調査項目：治療可能な疾患、実施可能な検査項目、対応可能な治療等

②調査期間：令和5年11月～12月

③医療機関情報の公表：「公表可」とした医療機関について、令和6年3月中に、  
県ホームページに掲載予定

## 10 次期「健康やまがた安心プラン」策定事業

### (1) 目的

令和5年度は現「健康やまがた安心プラン」の最終年度であることから、令和6年度以降の次期プラン策定に向けた検討及び策定作業を行った。

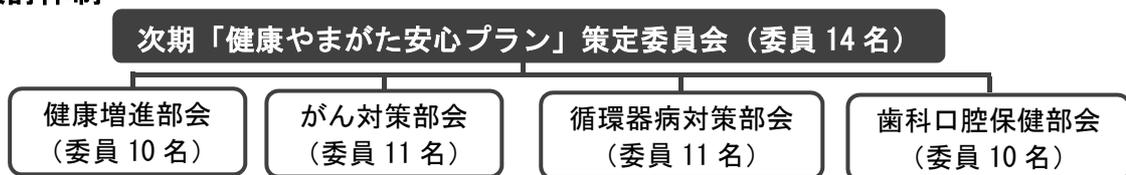
### (2) 健康やまがた安心プランの概要

- ① 法律に基づく以下の4つの計画で構成
  - ・健康増進計画（健康増進法 第8条）
  - ・がん対策推進計画（がん対策基本法 第11条）
  - ・循環器病対策推進計画（循環器病対策基本法 第11条）
  - ・歯科口腔保健計画（歯科口腔保健の推進に関する法律 第13条）
- ② 次期計画の期間：令和6年度～令和17年度（12年間）

### (3) 事業内容

- ① 各部会による分野ごとの評価及び検討
- ② 策定委員会による次期プランの検討及び策定
- ③ 冊子・県民向け概要パンフレット等の作成

### (4) 検討体制



#### 《学識経験者》

山形大学（公衆衛生学講座／内科学第1講座／脳神経外科学講座／産科婦人科学講座／歯科口腔・形成外科学講座）、県立保健医療大学、米沢栄養大学

#### 《保健・医療・介護関係団体》

山形県医師会、山形県歯科医師会、山形県薬剤師会、山形県看護協会、山形県栄養士会、山形県放射線技師会、山形県歯科衛生士会、山形県介護支援専門員協会、山形県医療ソーシャルワーカー協会、山形県地域包括支援センター等協議会、やまがた健康推進機構、日本対がん協会山形県支部、山形県立中央病院

#### 《地域・職域関係団体》

山形県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会山形県支部、置賜建設株式会社、上市市、大蔵村、高島町、庄内町

#### 《教育関係・NPO等》

山形県小・中・高等学校教育研究会養護教諭連絡協議会、山形県総合型地域スポーツクラブ協議会、社会福祉法人山形福祉会 山形南保育園、患者団体等

### (5) 検討経過

|                 |  |
|-----------------|--|
| 令和5年7月10日       | 第1回 次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会<br>・現行プランの評価について<br>・次期プランの方向性について など |
| 7月25日～8月1日      | 第1回 各専門部会<br>・各分野における次期プランの構成、目標指標等の検討                         |
| 10月16日～11月9日    | 第2回 各専門部会<br>・分野別プラン骨子案の検討                                     |
| 12月26日          | 第2回 次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会<br>・次期プラン素案の検討                        |
| 令和6年1月31日～2月29日 | ～プラン案に対する意見募集（パブリックコメント）～                                      |
| 3月下旬            | 次期プラン決定  |

## 11 令和4年県民健康・栄養調査結果の周知

---

### (1) 速報値の公表

令和5年5月下旬 プレスリリース、ホームページ掲載

### (2) 確定値の公表

令和6年2月下旬 ホームページ掲載

### (3) 概要版リーフレットの作成

令和6年4月 ホームページ掲載 (予定)

### (4) その他

第50回山形県公衆衛生学会(令和6年3月)へ口演(2題)

# 令和5年度主要事業の実施状況（がん対策分野）

## 1 がん総合相談支援センター運営事業

### ① 目的

がん患者やその家族の相談窓口として、各地域の拠点病院に設置している「相談支援センター」を補完し、相談機能を充実するため、治療に関することだけでなく、仕事と治療の両立や療養生活に関することなど、がん患者やその家族の悩みに寄り添える相談窓口を病院以外に設置するとともに、がん経験者の協力を得て、患者同士、家族同士で支え合うことのできるピアサポート活動を支援する。

### ② 事業の概要

#### ア 相談窓口の設置

県内5か所（山形市、酒田市、新庄市、米沢市、南陽市）に相談窓口を設け、対面相談、電話相談のほか、令和3年度からはオンライン相談も開始。

#### イ ピアサポート活動支援事業

○ ピアサポーターのフォローアップ研修会を開催  
（平成29年度～令和5年度：ピアサポーター97人養成）

○ ピアサポーターによるがんサロンの開催等

※ 「ピアサポート」とは、がんの治療をした方やその家族が、経験を共有し、ともに考え、がん患者の方やその家族等を支援する活動をいい、ピアサポートをする人をピアサポーターという。

### ③ 相談窓口での相談受理実績

R4年度：322件 R5年度：194件（R6.1月末時点）  
（H29～R6.1月末時点の累計：1,645件）

## 2 女性のがん検診受診率向上対策

### ① 目的

女性特有のがんである子宮頸がんの本県の検診受診率（20歳以上）は全国1位、乳がんの検診受診率（40歳以上）は全国2位と高いながらも、それぞれ46.8%、48.8%と未だ5割にも満たない状況にある。

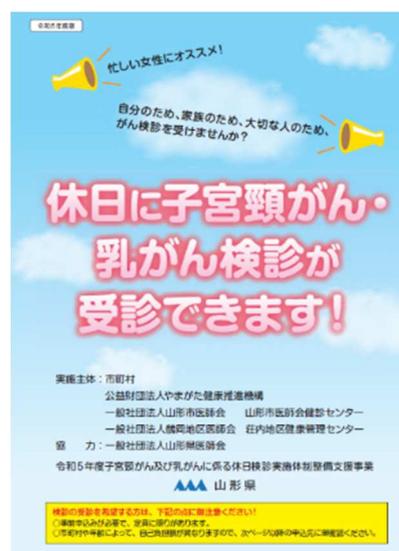
女性が受診しやすい環境づくりを推進し、受診率を向上させるため、10月の「がん検診推進強化月間」に合わせて、休日や平日夜間に検診が実施されるよう支援する。

### ② 概要

令和5年10月の土日祝を中心に市町村が実施する子宮頸がん検診及び乳がん検診において、医師など検診従事者の確保が困難な場合の従事者派遣経費を検診機関に補助

### ③ 受診実績

R5 276人（R4 318人）



### 3 健康長寿県やまがた推進基金活用事業費(若者に対するがん予防支援事業)

#### ① 目的

基金（寄附）を活用し、がんに対する関心が薄い20代から30代の若者に対し、正しい知識やがん予防の普及啓発を行う健康教室を実施するとともに、検査経費の支援を行い、健康意識の向上を図る。

#### ② 事業の概要

##### ア 検査費用の全額支援

【検査内容】※大腸がん検査は、申込者全員が対象

- ・[大腸] 便潜血検査（大腸がん検診と同内容）
- ・[胃] 胃リスク検査
- ・[肺] 胸部X線（肺がん検診と同内容）
- ・[乳] 乳房超音波検査

##### イ 健康教室の実施

#### ③ 検査実績

R4 延べ1,570人（H29以降の累計：8,465人）



### 4 重粒子線がん治療患者支援事業

#### ① 目的

有効な治療法でありながら公的保険の適用のない重粒子線がん治療について、希望する多くの県民が治療を受けることができるよう、県と市町村が共同で治療費等の助成を行うもの。

#### ② 事業内容

##### ア 治療費助成

- ・対象者：山形大学医学部東日本重粒子センターで治療を受ける山形県民※
- ・助成額：公的医療保険適用外の照射治療費の2割（上限628千円）

##### イ 利子補給

- ・対象者：先進医療ローンを借り入れた患者本人、その同一世帯の者及び親族※
- ・交付額：照射治療費に係る先進医療ローンの保証率を含む年利率6%以内・7年以内

※世帯の課税総所得が600万円以下の場合のみ。

#### ③ 助成実績

<治療費助成>

R3年度：0件 R4年度：1件 R5年度：7件

<利子補給>

（助成実績なし）

## 5 がん患者妊孕性温存治療費助成事業

### ① 目的

がん治療により妊娠する力が低下する可能性のある小児・AYA世代を主とした若年がん患者に対し、経済的負担の軽減を図りつつ、将来子どもを持つことの希望を繋ぐため、卵子や精子等の凍結保存を行う妊孕性温存療法や、凍結保存した卵子や精子等を用いてがん治療後に妊娠を補助する温存後生殖補助医療を受ける場合の費用の一部を助成するもの。

### ② 事業内容

- ・助成対象：43歳未満で山形県在住のがん患者等
- ・助成上限回数：妊孕性温存療法 通算2回、温存後生殖補助医療 通算3回\*

(※40歳未満の場合は、通算6回)

- ・助成金額：補助率定額（国1/2、県1/2）

| 対象となる治療        | 補助上限額/回 | 対象となる治療   | 補助上限額/回 |
|----------------|---------|-----------|---------|
| ①受精卵（胚）凍結      | 35万円    | ⑥ ①胚生殖    | 10万円    |
| ②卵子凍結          | 20万円    | ⑦ ②卵子生殖   | 25万円    |
| ③卵巣組織凍結        | 40万円    | ⑧ ③卵巣組織生殖 | 30万円    |
| ④精子凍結          | 2.5万円   | ⑨ ④⑤精子生殖  | 30万円    |
| ⑤精子凍結（精巣内精子採取） | 35万円    |           |         |

### ③ 助成実績

R3年度：11件 R4年度：7件、 R5年度：10件

## 6 医療用ウィッグ・乳房補整具購入助成事業

### ① 目的

治療と就労の両立、療養生活の質の向上に向け、がんの治療に伴う外見の悩みに対して支援するため、がん患者に対し、医療用ウィッグと乳房補整具の購入費用を助成する。

### ② 事業内容

- ・助成対象：がんの治療に伴う脱毛又は乳房の切除を受けたがん患者
- ・助成金額：購入経費の1/2

（上限額）医療用ウィッグ：2万円（県1/2、市町村1/2）

乳房補整具：1万円\*（同上）

※一部市町村で独自の上乗せあり

### ③ 助成実績

<医療用ウィッグ>

R1年度：489人 R2年度：430人 R3年度：410人 R4年度：384人

<乳房補整具>

R2年度：35人 R3年度：31人 R4年度：58人

※乳房補正具への助成は、R2～。

## **7 がん登録等の推進に関する法律に基づくがん登録**

---

- ① 制度  
がん登録等の推進に関する法律に基づき、日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国立がん研究センターで1つにまとめて集計・分析・管理する仕組み
- ② 内容
  - ・全国がん登録の実施
  - ・山形県がん登録情報利用審議会の開催

## **8 都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業**

---

- ① 県の中心的ながん診療機能を担い、都道府県がん診療連携拠点病院（県立中央病院）で専門的ながん医療を行う医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修の実施、情報提供、症例相談や診療支援を実施し、県がん診療連携協議会を開催
- ② さらに、自院の機能強化を図り、がん患者及びその家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の事業を実施することにより、質の高いがん医療の供給体制を整備

## **9 地域がん診療連携拠点病院機能強化事業**

---

- ① 目的  
厚生労働大臣が指定した「地域がん診療連携拠点病院」において、がん医療に従事する医師等に対する研修、がん患者や家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の事業を実施することにより、地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高いがん医療の提供体制を確立することを目的とする。
- ② 対象  
日本海総合病院、山形市立病院済生館、山形県立新庄病院、公立置賜総合病院

# 令和5年度主要事業の実施状況（循環器病対策分野）

## 1 循環器病普及啓発事業

令和4年度に作成した啓発媒体（漫画・動画）を用いて、既存の多様な機会を活用した普及啓発

〈大人版〉

方言を交えながら  
分かりやすく解説

〈子ども版〉  
小学校4～6年生向け

健康の知識が豊富な  
ケン先生が優しく解説

脳卒中編 約4分

脳卒中の前触れを見逃さないで  
いつもと違うと感じたら医療機関へ

<https://youtu.be/NQYwxHMI3oQ>

心筋梗塞編 約6分

命に関わる病気「心筋梗塞」を知ろう  
大切な人を守るためにできること

[https://youtu.be/u\\_T7ROh62d0](https://youtu.be/u_T7ROh62d0)

脳卒中編＋心筋梗塞編 約10分

脳卒中編と心筋梗塞編を連続でご覧いただけます。

[https://youtu.be/LXY0w\\_BuKJU](https://youtu.be/LXY0w_BuKJU)

＜山形県ホームページ掲載箇所＞

ホーム ＞ 健康・福祉・子育て ＞ 健康 ＞ 循環器病対策 ＞ 循環器病（脳卒中・心臓病）対策について

## 2 循環器病救急搬送体制整備事業

### (1) 目的

心筋梗塞における病院到着から治療開始（治療方法確定）までの時間を短縮するため、「山形県循環器病対策推進計画」に基づき、救急現場から医療機関へ詳細な心電図を伝送する装置の導入経費を補助する。



#### 時間短縮のイメージ

搬送中に治療方針の決定

⇒治療準備（スタッフ招集等）を行うことが可能となり

病院到着後速やかに治療を開始することができる。

- (2) 補助事業者 医療機関又は消防機関
- (3) 補助対象設備 心電計本体の備品購入費、使用料及び賃貸料(基準額 1,500 千円/台)  
タブレット端末の備品購入費 (基準額 50 千円/台)
- (4) 補助率等
- ①補助上限額 1,000 千円
- ②補助率 2/3 以内  
(例: 350 万円の設備を購入した場合の補助額: 補助基準額 1,500 千円×補助率 2/3 = 1,000 千円)
- ③補助要件 消防機関と搬送先医療機関との間で、伝送に係る運用上の取り決めが  
できていること。(当該補助金を活用してから 1 年以内に伝送開始を想定)
- (5) 予算額 (R 5 当初) 6,400 千円 (地域医療介護総合確保基金活用)
- (6) 決算額 (R 5 交付実績) 2,033 千円
- ・最上広域市町村圏事務組合 心電図伝送装置本体 2 台 2,000 千円
  - ・米沢市立病院 タブレット 1 台 33 千円

### **3 脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業**

本県における脳卒中及び心筋梗塞患者の発症、死亡及び医療状況の実態を調査し、科学的根拠に基づく循環器病対策を推進するとともに、健康寿命の延伸と医療・介護の負担軽減に資することを目的に、県内医療機関の協力を得て発症登録や分析等を行う。

- (1) 委託先 山形大学医学部附属病院
- (2) 委託料 4,500 千円

# 令和5年度主要事業の実施状況（歯科口腔保健分野）

## 1 各市町村で実施する歯周疾患検診への支援

### ① 概要

歯周疾患検診の実施（市町村、県、国が1／3ずつ負担）

### ② 対象者

当該年度に40歳、50歳、60歳、70歳に達する者

### ③ 受診方法

対象者に対して市町村が案内通知を発送。対象者は指定された歯科診療所に予約のうえ、受診（35市町村で実施 令和4年度受診率：3.2%）

## 2 「山形県口腔保健支援センター」の設置運営

### ① 目的、概要

歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関として、山形県健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課内に「山形県口腔保健支援センター」を設置

### ② 開所日 平成30年6月4日（月）

### ③ 業務内容

市町村が行う歯科保健事業への支援や一般県民に対する普及啓発を行うとともに、障がい児の歯科疾患予防のため特別支援学校でのフッ化物歯面塗布（8参照）を行うほか、以下の事業を実施

#### <令和5年度の主な事業>

- やまがた健康フェア2023でのブース出展  
（お口の健康度チェック、歯科相談コーナー）



- ハンドブックによる啓発

乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの口腔内の状況や歯みがきのポイントなどをまとめた「年代別歯みがきのポイントガイドブック」の作成

- 歯科保健に関する知識共有のための研修会の開催（3参照）

歯科保健に携わる職種（令和5年度は看護職、介護職等）を対象とした研修会の開催

### 3 歯科保健に関する研修事業

---

#### ① 目的

歯科口腔保健に携わる多職種(歯科専門職以外)と、歯科口腔保健に関する知識の共有を図る。

令和5年度は、看護職や介護職等を対象とした、在宅療養者に対する口腔衛生管理についての研修会を開催。

#### ② 日時 令和6年3月5日(火)

#### ③ 場所 山形県立保健医療大学

※集合型とZoomウェビナーによるオンライン型のハイブリッド形式で開催

#### ④ 内容 講演「今だからこそ聞いておきたい！在宅、施設での口腔衛生管理の基本」

講師 山形県口腔保健支援センター 歯科医師 吉田 雪絵

#### ⑤ 参加者数 94名

### 4 成人歯科保健対策推進事業

---

#### ① 目的、概要

職域における歯科健診体制を整備し、かかりつけ歯科医の定着促進を図るため、歯科医師及び歯科衛生士が事業所を訪問し、「生活歯援プログラム」を活用した歯科保健指導を行い、精密検査が必要な者に歯科医院の受診を促すもの(県歯科医師会に委託)

#### ② 令和5年度実施事業所

(株)YCC 情報システム、日本刃物(株)、置賜建設(株)、社会福祉法人平田厚生会

### 5 在宅歯科医師養成のための講習会の開催

---

#### ① 目的

在宅歯科診療を行う歯科医師等の養成(県歯科医師会に委託)

#### ② 日時 令和5年9月2日(土)、3日(日)

#### ③ 場所 山形県歯科医師会館、会場からのZoomによるWeb配信

#### ④ 内容

ア 「在宅訪問歯科で、もしも全身的偶発症がおきたら」

講師 北海道医療大学歯学部歯科麻酔科学分野 教授 照光 真 氏

イ 「必要な人に届く訪問歯科診療のために～多職種との連携どうつくる？～」

講師 株式会社瀬尾医療連携事務所(鶴岡市) 代表取締役 瀬尾 利加子 氏

ウ 「人を良くすると書いて“食” 歯科が“食”をどのように支えるかを考える」

講師 宮城県石巻市 雄勝歯科診療所 院長 河瀬 聡一朗 氏

エ 「高齢期の口腔機能低下と口腔機能管理」

講師 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 教授 上田 貴之 氏

#### ⑤ 修了者数 40名(両日受講・アンケート提出)

## **6 在宅歯科診療を実施するための医療機器整備事業**

---

### ① 目的、概要

在宅歯科医療提供体制の充実を図るため、歯科医療機関に対し、在宅歯科診療に必要な医療機器の整備費用を補助。令和5年度から、過去に当該補助金の交付を受けた歯科診療所も条件付きで補助対象としている（過去に補助を受けた年には発売されておらず、近年になって開発・販売された機器を購入する場合など）。

### ② 対 象

在宅歯科医師養成のための講習会（5参照）を修了した歯科医師が常勤する歯科診療所等

③ 補 助 率 2 / 3 （1診療所あたり上限額 2,425 千円）

④ 補助実績 R 5 ; 新規購入 4 診療所、追加購入 5 診療所（H21～累計 92 診療所）

## **7 在宅歯科医療連携室による県民や医療介護職などへの普及啓発**

---

### ① 目的、概要

地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制を構築するため、在宅歯科医療連携室を設置・運営（県歯科医師会に委託）

### ② 設置場所

山形県歯科医師会館内（平成 30 年度から歯科衛生士を 1 名配置）

## **8 特別支援学校でのフッ化物歯面塗布の実施**

---

### ① 目的、概要

障がい児のむし歯予防対策を推進するため、特別支援学校に歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、希望する児童・生徒に対して年 2 回フッ化物歯面塗布を実施

② 実 施 校 特別支援学校 16 校

③ 実施人数 延べ 1,389 名（第 1 回目 718 名、第 2 回目 671 名）

## **9 障がい者歯科保健研修会の開催**

---

### ① 目 的

障がい者の歯科診療に対応できる人材の育成（県歯科医師会に委託）

② 日 時 令和 5 年 10 月 21 日（土）

③ 場 所 山形県歯科医師会館、会場からの Zoom による Web 配信

④ 内 容 「診療所での障害者歯科『できること』と『役割』」

講師 静岡県静岡市

よこすな歯科クリニック 院長 小笠原 正 氏

⑤ 参加者数 39 名

## **10 歯科衛生士の確保及び在宅歯科診療に対応できる人材育成のための研修会の開催**

### ① 目的

臨床の現場を離れた歯科衛生士の復職支援、在宅における適切な口腔ケアを提供できる知識・能力を有する歯科衛生士の養成（県歯科医師会に委託）

### ② 日時 令和5年12月17日（日）

### ③ 場所 山形県歯科医師会館、会場からのZoomによるWeb配信

### ④ 内容

ア 「患者さんの多様性に向き合う患者教育～歯科衛生士として継続的に通院したいと思ってもらえるように必要なこと～」

講師 Kuriere 代表 歯科衛生士 北原 文子 氏

イ 「衛生士の可能性～職域の枠を超えたスペシャルニーズアプローチ～」

講師 香川県まんのう町国民健康保険造田診療所 歯科衛生士 丸岡 三紗 氏

## **11 歯科医療安全管理体制推進研修会の開催**

### **（1）歯科医療安全に関する研修会**

#### ① 目的、概要

歯科医師や歯科診療所で働くスタッフの歯科医療安全に関する知識の習得や技術の向上を図るための研修会を開催（県歯科医師会に委託）

#### ② 日時 令和5年10月5日（木）

#### ③ 場所 山形県歯科医師会館

#### ④ 内容

ア 「新型コロナウイルス感染症：この1年、何が新たにわかったか？」

講師 山形大学医学部附属病院検査部部長・病院教授

感染制御部部長 森兼 啓太 氏

イ 「With コロナ時代の基本的な感染対策について考える」

講師 公益財団法人大阪府看護協会 政策・企画・看護開発部

感染対策担当部長補佐 感染管理認定看護師 岡森 景子氏

### **（2）新任歯科医師等研修会**

#### ① 目的、概要

新しく歯科医療に従事する歯科医師等を対象として、医療安全管理のための基本的な考え方、具体的方策等についての研修会を開催

#### ② 日時 令和6年3月実施予定

#### ③ 場所 山形県歯科医師会館4階大会議室ほか

#### ④ 内容 最近の歯科相談の動向 など